



扁額 伊豆大権現

伊豆山神社所有

この扁額は、明治初年の廃仏毀釈の時まで神社の拝殿に掲げられたものと云われています。その大きさから、当時の拝殿は現在よりも大きかったことがうかがえます。伊豆山神社は伊豆大権現、走湯大権現など称されていましたが、明治になって現在の社名に改称されました。

扁額の文字は、八咫鳥（やたがらす）をはじめ鳩・ヤモリ・蛇など様々な動物に模して描かれています。



伊豆山の沿革

伊豆山は、伊豆の国号の発祥の地といわれ、走るが如き温泉が湧き出し海に注いでいたので走湯山とも呼ばれていました。伊豆山神社は、古来、伊豆大権現、走湯大権現として歴代鎌倉將軍の庇護により隆盛を極め、関八州総鎮護として崇められてきました。さらに、徳川家康が天下取りを祈願したことで知られ、江戸時代には多くの大名が参拝に訪れ、湯治場となった熱海温泉が天下の名湯として知れ渡りました。また、般若院は、伊豆大権現の別当坊として徳川幕府の庇護のもと大きな権力を有していました。

開館時間 午前9:00～午後4:00

休館日 毎週水曜日（祝日の場合は翌日）

アクセス

JR熱海駅より車で約6分／

JR熱海駅よりバスで約10分「伊豆山神社前」下車／

お問い合わせ TEL 0557-80-4252

〒413-0002 静岡県熱海市伊豆山708-2

HP http://www.city.atami.shizuoka.jp/page.php?p_id=625

枕草子ゆかりの“子恋の杜”につつまれた

熱海市立伊豆山郷土資料館

Izusan Local Museum



銅造走湯権現立像

(表紙) 銅造走湯権現立像

静岡県指定文化財

伊豆山神社所有

像高96cm、重量110.5kg、国内最大級の大きさを誇る青銅製の御神像です。穏やかな表情で、立烏帽子を被り、袍（ほう）に袴、そして袈裟を掛けた姿は、七福神の恵比寿様に似ています。



拝殿向拝彫刻 龍神

伊豆山神社所有

↑伊豆山神社の社殿の向拝を飾っていた彫刻のひとつで、「波の伊八」の名で知られた江戸時代を代表する宮彫師「武志伊八郎信由」の作とされています。伊八は「波を彫ったら日本一」と云われ、その作風は、同時代に活躍した「葛飾北斎」の「富嶽三十六景」の一つ「神奈川沖波裏」等にも強く影響を与えたとも云われております。



伊豆山経塚遺物

静岡県指定文化財

伊豆山神社所有

↑伊豆山神社本殿の裏山で発見された、大規模な経塚に埋められていた土器・銅製の筒・鏡などです。永久5年（1117年）の紀年銘のある経筒を始め、12世紀を中心とした経塚遺物として考古学上大変貴重であるとされています。



木造宝冠阿弥陀如来像及び脇侍像

静岡県指定有形文化財

伊豆山浜生活共同組合所有

←伊豆山にあった常行三堂の本尊で、本来は阿弥陀を中心に法・利・因・語の四菩薩像を周りに安置したものでした。穏やかな表情の阿弥陀像は、髪を上で束ね筒型の宝冠を被っていたと考えられます。鎌倉時代を代表する仏師の一人「快慶」の作と云われています。

